

**製品名: GABAA Ry1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11238**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	54kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GABRG1
別名	GABRG1; Gamma-aminobutyric acid receptor subunit gamma-1; GABA(A) receptor subunit gamma-1
遺伝子 ID	2565.0
SwissProt ID	Q8N1C3
免疫原	抗血清はヒト GABRG1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

**背景**

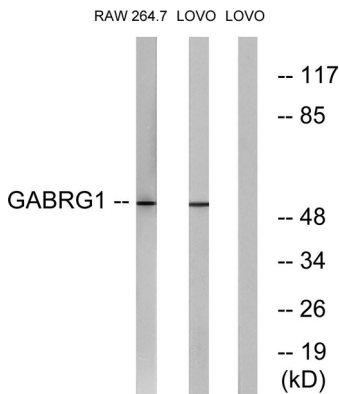
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、リガンド依存性イオンチャンネルファミリーに属します。これは膜貫通タンパク質で

あり、ベンゾジアゼピン受容体に結合して内在性塩素イオンチャンネルを開口することにより、神経伝達の阻害において重要な役割を果たします。この遺伝子は、他の3つのファミリーメンバーとともに4番染色体上にクラスター化されています。[RefSeq提供、2008年7月],機能: 脊椎動物の脳における主要な抑制性神経伝達物質であるGABAは、GABA/ベンゾジアゼピン受容体に結合して内在性塩素イオンチャンネルを開口することにより、神経抑制を媒介します。、その他: このサブユニットはベンゾジアゼピン結合部位を有します。、オンライン情報: Forbidden fruit - 2005年3月号 第56号,PTM: パルミトイル化されている可能性があります。、類似性: リガンド依存性イオンチャンネル (TC 1.A.9) ファミリーに属します。、サブユニット: 通常は5量体です。GABA(A)受容体鎖には、アルファ、ベータ、ガンマ、デルタ、ローの5種類があります。

## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



GABRG1抗体を用いたLOVO細胞およびRAW264.7細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。